

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
疾病・治療各論Ⅲ	2年次 後期	必修	講義	2単位（30時間）	渡辺 しき子	
授 業 概 要						
疾病診断のための検査や治療について学び、それらが人体や人の生活にどのような影響があるかを解説する。この内容は、健康障害がある対象への看護実践の上でも、疾病予防や健康増進の上でも重要な基礎となる。						
到 達 目 標						
1. 筋骨格系・脳神経・感覚器の代表的な疾患の検査・診断・治療法とその影響について説明する。 2. 小児に多い疾患および精神の疾患の検査・診断・治療法とその影響について説明する。						
実務経験のある教員						
大谷 尚也：小児専門看護師の経験を活かし、小児に多い疾患について教授する。						
回	学 習 内 容				担当教員	
1-3	1. 「動く」機能の障害 代表的な筋骨格系疾患の検査と診断・治療・処置 ・骨折（大腿骨頸部骨折） ・椎間板ヘルニア ・脊髄損傷 ・変形性膝関節症				渡辺 しき子	
4-7	2. 「見る」「聞く」「話す」ための情報を発信し捉える機能の障害 代表的な皮膚疾患の検査と診断・治療・処置 ・アトピー性皮膚炎 ・熱傷 ・皮膚癌 代表的な眼科疾患検査と診断・治療・処置 ・白内障 ・緑内障 代表的な耳鼻咽喉疾患の検査と診断・治療・処置 ・中耳炎 ・メニエール病 ・突発性難聴 ・副鼻腔炎 ・鼻出血 ・喉頭癌 代表的な歯・口腔疾患の検査と診断・治療・処置 ・う歯 ・歯周病 ・舌ガン					
8-11	3. 小児に多い疾患の検査と診断・治療・処置 ・神経芽細胞腫 ・先天異常 ・髄膜炎 ・川崎病 ・血友病 ・喘息 ・気管支炎 ・細気管支炎 ・ヒルシュスプルング病 ・腸重積 ・麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎(予防接種)				大谷 尚也 ※ 他	
12-15	4. 精神の疾患の検査と診断・治療・処置 ・発達障害 ・認知症 ・気分障害（うつ病 双極性障害） ・統合失調症 ・依存症					
学 習 方 法						
課題学習 講義 グループワーク						
評 価 方 法						
科目修了試験						
先 修 科 目						
なし						
教科書、参考書						
〔教科書〕						
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[10]	運動器	田中 栄 他著	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[13]	眼	大鹿哲郎 他著	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[14]	耳鼻咽喉	小松浩子 他著	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[15]	歯・口腔	渋谷 絹子 他著	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	小児看護学	[2]	小児臨床看護各論	奈良間美保 他著	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	精神看護学	[1]	精神看護の基礎	武井麻子 他著	医学書院